

産業厚生建設委員会会議録（令和5年6月21日）

出席委員 大浦委員長 青山副委員長 吉森委員 高川委員 原委員 岩城委員
古沢委員

欠席委員 なし

職務のため出席した事務局職員 落合局長 中田局長補佐

午後4時21分開会

大浦委員長 ただいまから、令和5年6月定例会産業厚生建設委員会に付託された陳情の趣旨説明について協議するため、本日の委員会を開催いたします。

議事日程は、お手元に配付してあるとおりです。

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

青山副委員長、古沢委員にお願いいたします。

日程第2、陳情の趣旨説明について協議に入ります。

産業厚生建設委員会に付託された「陳情第1号 海洋深層水施設の設置に関する陳情書」について、陳情第1号の陳情者・野徳賢司さんは、6月23日の産業厚生建設委員会での審査の際に、趣旨説明することを希望すると申し出ております。

そこで、当委員会から陳情者に対し、趣旨説明を求めるかどうか協議いたします。

それでは、意見のある委員の方は、挙手の上、発言を願います。

古沢委員 希望しておられるということですので、していただけたらいいというふうに思っています。

大浦委員長 ほか、ございますか。

岩城委員 今言われた古沢委員と一緒にすけども、機会を設けてあげればということでもあります。

大浦委員長 皆さん、異議なし？

それでは、ただいまの協議の結果、6月23日の産業厚生建設委員会において、陳情者・野徳賢司さんに趣旨説明を求めることに決定したいと思います。ご異議ありませんか。

（異議なし）

大浦委員長 ご異議なしと認めます。よって、6月23日、産業厚生建設委員会において、陳情者・野徳賢司さんに趣旨説明を求めることに決定いたしました。

日程第3、その他についてです。

委員の方から何かございますか。

今回、議運でこの陳情が出てきたときに、本来議運でもんで委員会付託をかけるものだと思うんですけども、委員長に振られるような形で。

まず、私は趣旨説明を求めることで賛成だったんですけども、ただこの陳情を受けるに際して、これまで、本来議会というものが、基本的には陳情などに対して採択か不採択の基本的にはこの2種類しかないということになっています。

だけど、やっぱり趣旨採択ということがちょっと当たり前になってきた部分も思うところがあるんです。これ、付託された委員長として、ちょっと思っていることを言っているんですけども。

今回のこの陳情に対しても、もしかしたら趣旨採択という考えをされる委員の方もいらっしゃることも予想されるんですけども、委員長として思うところは、基本に立ち返って、採択か不採択、この基本的な考えについて各委員の皆さんには臨んでいただきたいという、これは委員長としての要望といいますか、考えであります。

ですので、答えについては各委員にお任せいたしますけども、この委員会の在り方として、この陳情の趣旨説明に臨んでいただきたいなというふうに思います。

以上です。

原委員 このタラソピアを存続させる会というのは、いつ発足されたか、何か分かる、聞いておられる。

中田局長補佐 すみません、確認して委員会までに報告します。

原委員 何やら最近聞いたような。昔からあったか。

大浦委員長 昔からあるんです、これ。

原委員 でも、「タラソピアを存続させる会」という名前だったけ。

青山副委員長 違います。何か違った名前でした。

大浦委員長 この名前じゃないかな。

原委員 ちょっと一回調べてよ。ごめんなさい。よろしくお願いします。

大浦委員長 あ、すみません、もう一点なんですけども、委員会が開催されたとき、委員間討議というものが陳情者の趣旨説明、各当局側、陳情者に対する質問が終わった後、行われておりましたけども、今回、傍聴者の数もちょうと予想できない、もしかしたら多くなって、その部屋に入り切らない場合も考えられます。

ただ、委員間討議でどんな話が出たかは、傍聴者に対してしっかりと伝える必要がありますし、なので、別部屋に移動することを省きまして、大会議室ですよね、当日、委員会は。

大会議室で全ての委員間討議も含めて行って採決に入ろうと思っておりますけれども、これもお異議なしでよろしいでしょうか。

原委員 委員間討議って、それは公じゃなくて、委員だけでやるべきじゃないが。

古沢委員 いや、基本条例の考え方からいったら、委員間討議も含めて公開をするというのが本来あるべき姿だというふうに私は思っています。

それぞれの委員がどういう考え方に基づいてどういう判断をするのかということ傍聴者は見る権利があるというふうに思います。

会議は原則公開だから。

大浦委員長 ほかにございますか。

青山副委員長 私も古沢委員さんが言われるように、先ほどの資料もそうですけど、隠すものはないと思いますので。

大浦委員長 それでは、皆さん、ご異議なしということで、その流れで、当日させていただきます。

落合事務局長 すみません、確認ですけれども、その委員間討議の際にも、当局はそこにいるという形でよろしいですか。

大浦委員長 私は、当局もいてもらって、もし……。

一番は、この陳情書の中に、理由で野徳賢司さんのほうから書いてあるんですけど、利用者に対し、説明がないままというような文言も入っているんです。

なので、全てをこの委員会としても、陳情者なり傍聴者に見ていただければ、開かれた議会にもつながる部分はあると思いますので、そういったように進めたいと思っています。

古沢委員 それでいいんですけど、当日の委員会、陳情は多分一番最初に取り扱うんですよね。

過去の例で言うと、当局の見解をまず聞いてやっていた記憶があるんですけど、そういう流れでいいのかな。

中田局長補佐 現在のところ、まず、今回呼ぶということになりましたので、陳情者から意見聴取、陳情者に質疑、その後、当局の見解を聞き、当局に質疑、場合によってはそ

れを聞いた上で、もう一度陳情者に質疑など。その都度、委員長の采配にお任せしますが、その後で、採択、不採択のほうを判断していく流れになるかと思っております。

大浦委員長 という流れであります。

よろしいですか。

古沢委員 はい。

大浦委員長 その他、なければ。

青山副委員長 今のこの採択、不採択の話ではないんですけれども、このタラソピアに関してということで、ちょっと、1期目の方とか、多分2期目の方も違うのかな。私が1期目のときに、やはり市長もあれだけこだわられた公共施設のあり方検討委員会で全議員がその特別委員会に入って、全員で一致して、多分、しかもその言われていた方が委員長をやられていたと私は認識しているので……。

いやいや、いやいや、ここで、この会議も触れると思うんですよ。これ、言っておかないといけないものなので。

今のこの採択もそうなんです。結局、ここで、じゃそれでどういう形になろうとも、どちらかを皆さん決断されるわけですよ。それをああいう議場で言ってしまうと、我々、その当時委員長だった方についていってやったわけですよ。全員一致していると思って、この議会の対応として動いたわけで。そこはやっぱりどうしてもその……。

いや、8年間で気持ちが変わったって、それは、気持ちは分からんでもないけれども、でもやっぱり議場で言ったらあかんやつだと思うんですね。

その辺も含めて、今のこの採択、不採択に関しては、皆さん、当たり前なんですけど、しっかりした決断とともに、この委員会をしっかりと終了させていただきたいなという思いなので、よろしくをお願いします。

大浦委員長 これは、私から議運の委員長に。

よろしいですか。

(特になし)

大浦委員長 それでは、以上で産業厚生建設委員会を閉会とさせていただきます。

お疲れさまでした。

午後4時32分閉会